

三重県環境学習情報センターリニューアル

展示基本設計説明書

令和8年2月

主な来館者への配慮を考慮し、学習効果を高める観点から、現状の展示からの以下の留意点を検討。

展示利用のメインターゲット

- 展示室の利用実態としては、小学生の団体利用が大半を占めており、中学生は少数にとどまっている。
- 学校での学習とフィールド学習の中間的な位置付けにあることから、学習の早い段階にある小学生を対象に、
- 環境問題の全体像のイメージをつかんでもらうことを主な狙いとする。

5つの主な留意点

導入部でのマインドづくり

理解を助ける体験性やグループ学習

解説グラフィックへの配慮

心理的な受け止めやすさに影響するデザイン

展示空間全体のレイアウト・環境

目指す方向性

学びの拡がり

楽しく学べる！

子どもたちが興味・好奇心をもって学びに向き合える
きっかけ・しかけを用意します

きちんと学べる！

学習指導要領に沿った内容をベースにおきながら
教室ではない、ここならではの学びを目指します

みんなで学べる！

団体利用が大半を占めていることを踏まえ
グループで一緒に取り組める展示にします

理解の深まり

つながりを理解する！

さまざまな要素・課題がつながっていること
自分の生活にもつながっていることへの理解を深めます

地域の魅力を知れる！

三重の自然環境がもつすばらしさを知り
それを守ることの大切さを実感できるようにします

意欲の芽生え

今日からすぐ行動にうつせる！

普段の生活・行動を見直す具体的なアイデアを紹介し
行動変容の実践へと誘導します

未来にも思いをはせる！

今まさに研究が進められていること、取り組む人々を知り
未来志向で主体的に参画する気持ちを育みます

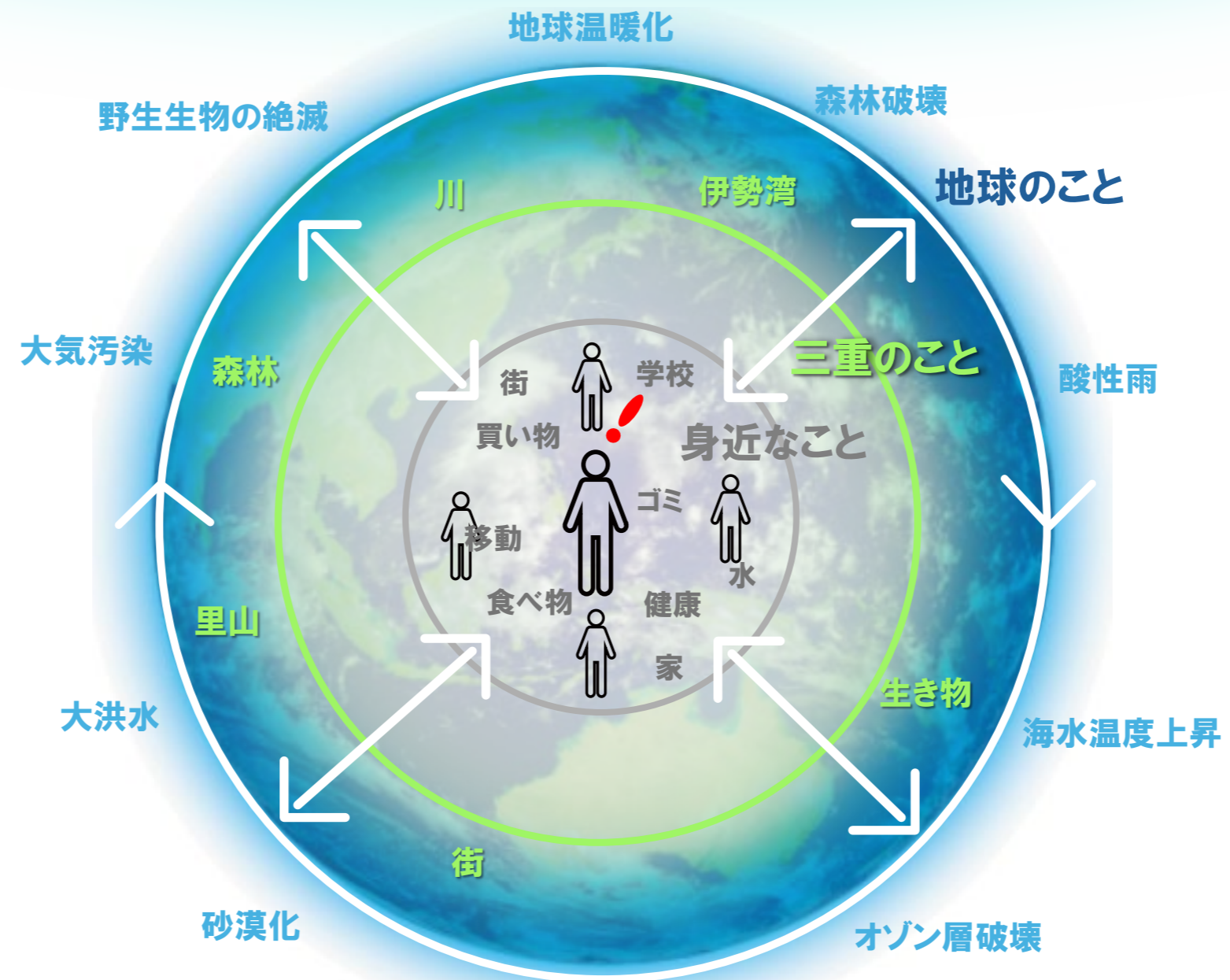
デジタルとアナログの相乗効果と持続可能性への配慮

触覚に訴えるハンズオンのアナログ展示と、インタラクティブな最新技術を適材適所で活用して
より記憶に残る魅力的な展示にするとともに、容易な情報更新も可能にします。

自分の暮らしは何とつながってどう影響している？今、みんなの三重は、地球はどうなっている？
少しずつでもかえていく気持ちを育む施設に。

展示ビジョン

すべては影響しあい、つながっていることに気づき、
自分が大人になった時の世界を考えてみよう



プロローグからつづく体感展示を通して、自分と環境とのつながりを知り、これからの未来のことを考える構成。

見学の流れ

1. プロローグ

この施設で感じてもらいたいことを象徴的に表現。

2. つながりのへや

今の生活と環境について、楽しみながら色んなことがみんなつながっていることを知ってもらう。

3. 映像シアター

つながりの部屋で知ったことをクイズコンテンツなどを通じて楽しみながら振り返り、学習を深める。

4. 少し先の未来のこと

環境のことに触れて自分はどのようにしていきたいかを考え話し合ってもらおう。四日市公害問題についても触れる。

日常に戻って実践

※三重県特有の約1,083kmの海岸線は、北部の遠浅な砂浜から南部の複雑なリアス海岸まで変化に富み、多様な漁場と景観を形成している。「きれいで豊かな海」つくりの水を透明にするだけでなく、「生き物にとっての豊かさ」と「人間社会の営み」を両立をめざす取り組みは、展示全体の底流になるメッセージと捉え、プロローグ・つながりのへや・映像シアター等での表現の検討を行う。

1. プロローグ イメージ

中央モニターで「見えないつながり」に気づききっかけを与え、周囲の環境の数字でその影響を知る。



日本の●●は世界の**27**倍!

小さな島国にも関わらず、日本近海の海洋プラスチック量は世界平均の**27**倍。

ウラには数字の意味

2. つながりのへや イメージ

5つの「体感展示」で各環境問題への好奇心を高め、それぞれがつながっていることを感じる。



三重の取り組みも紹介

3. 映像シアター イメージ

自然環境と暮らしを考える個人から多人数団体まで参加できるコンテンツ。学校単位でもチャレンジ可能。



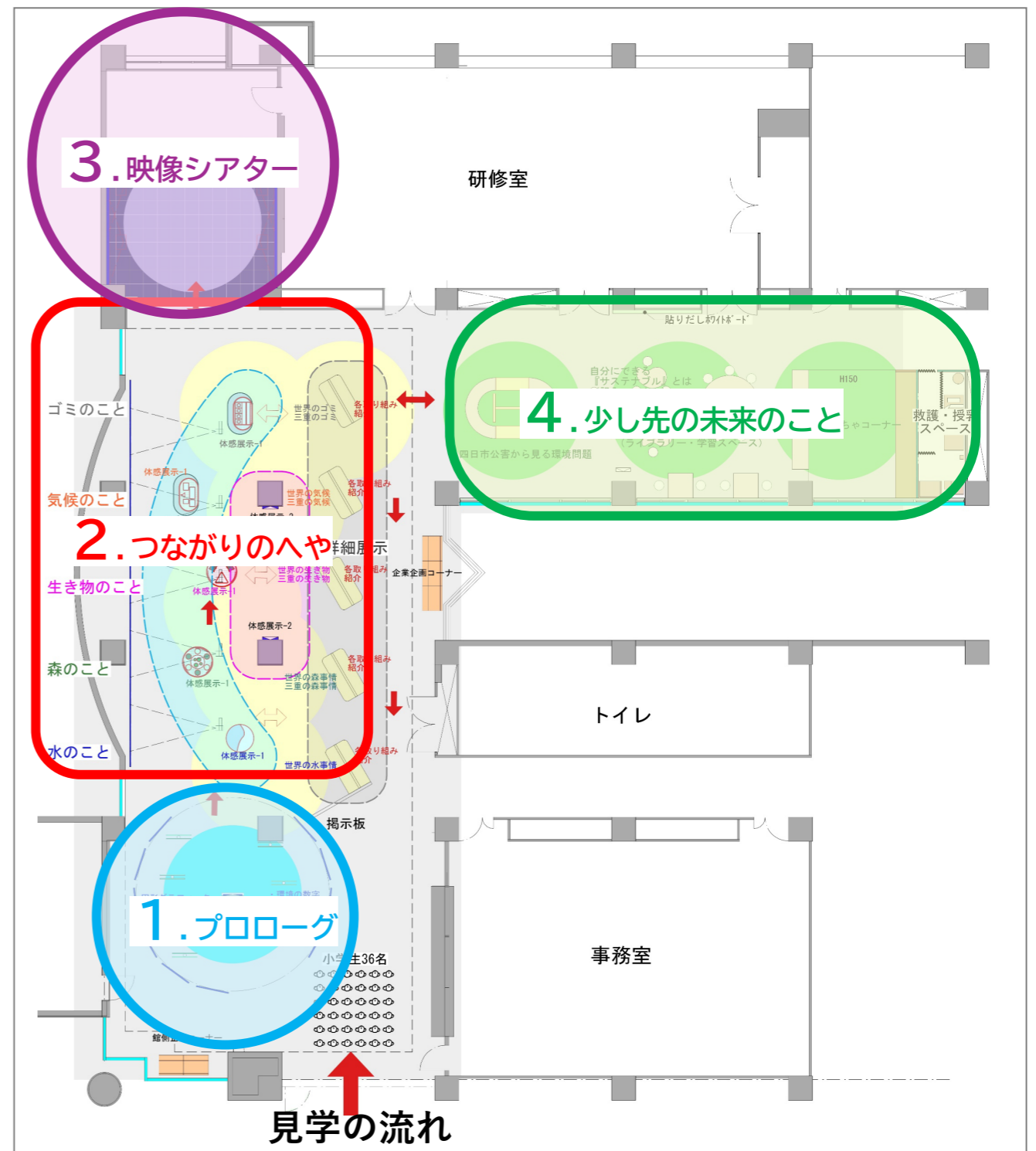
フォトコンテストの写真展なども開催可能

4. 少し先の未来のこと イメージ

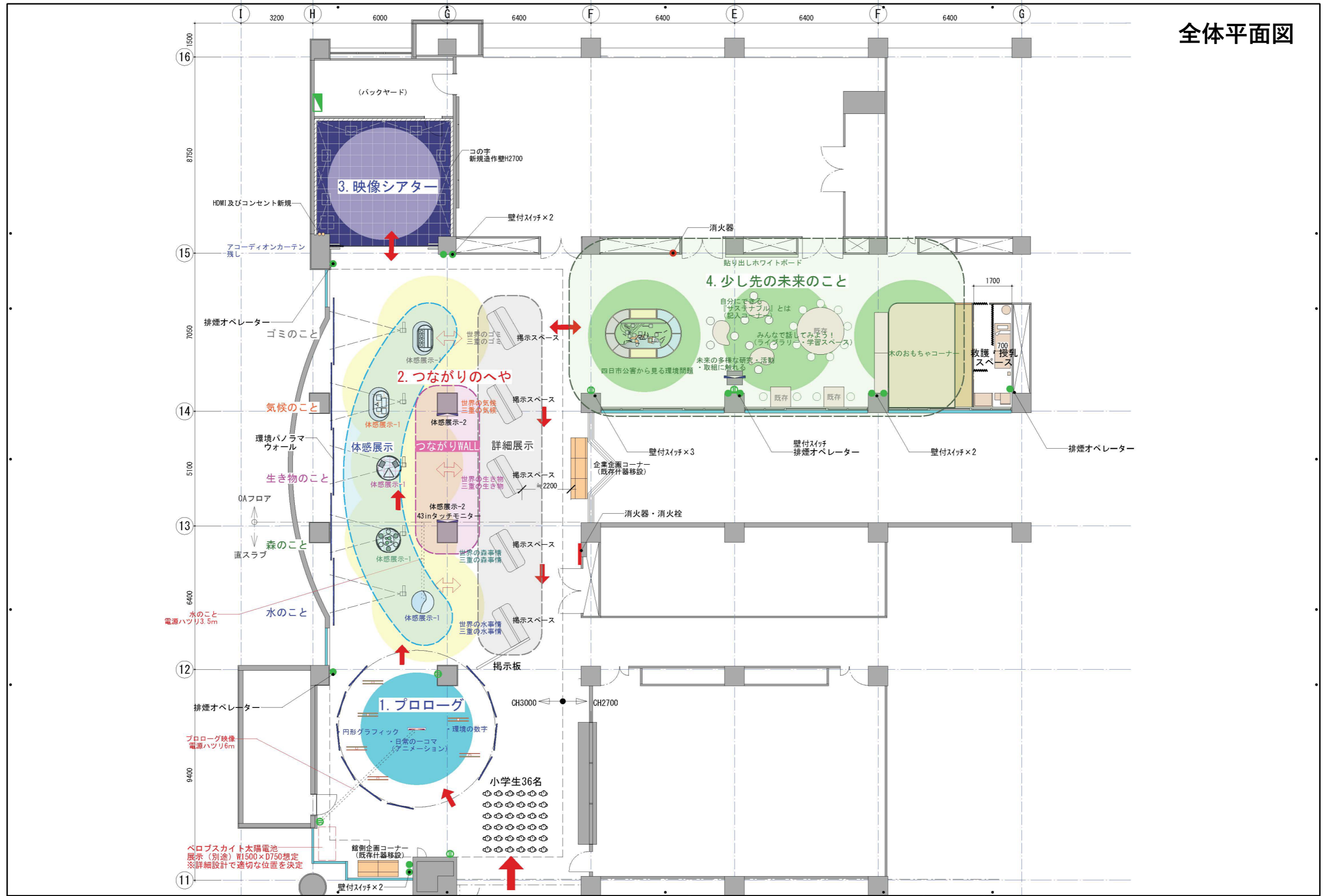
展示で学んだことを、自分の身近な事柄へアウトプットを行って定着、共有を行う。



ゾーニング図



全体平面図



ベロブスカイト太陽電池
展示 (別途) W1500×D750想定
※詳細設計で適切な位置を決定



承認	検印	設計	日付	縮尺	名称	図面番号
			令和8年2月	1/150 (A3)	三重県環境学習情報センターリニューアル基本設計	
					種別	図面コード
					電気設備図	

見学の流れ

1. プロローグ

この施設で感じてもらいたいことを象徴的に表現。

2. つながりのへや

今の生活と環境について、楽しみながら色々なことがみんなつながっていることを知ってもらう。

3. 映像シアター

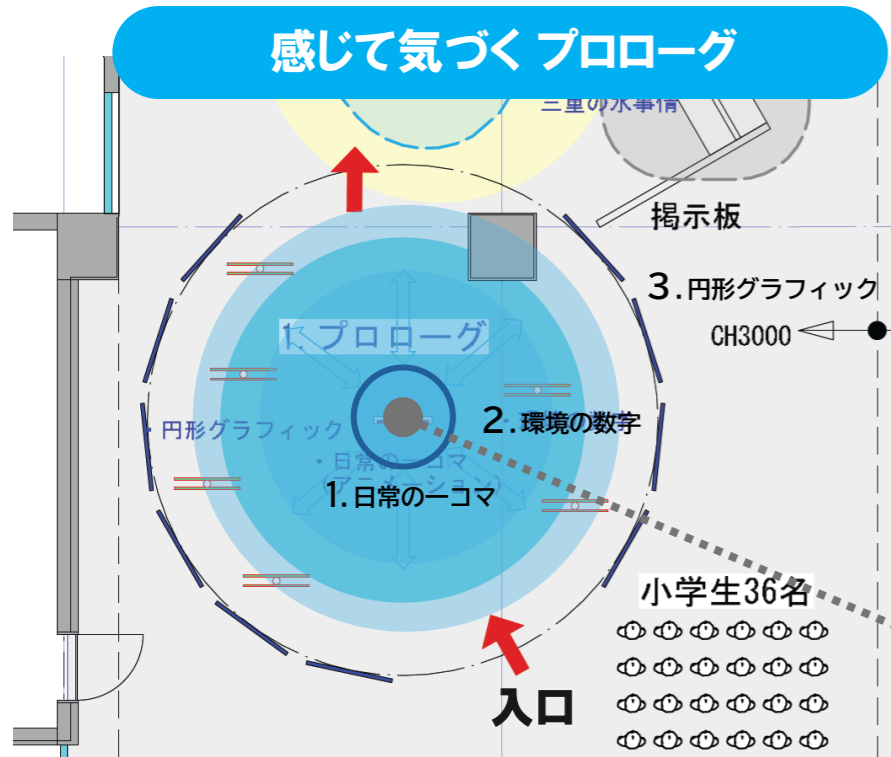
つながりの部屋で知ったことをクイズコンテンツなどを通じて楽しみながら振り返り、学習を深める。

4. 少し先の未来のこと

環境のことに触れて自分はどうしていきたいかを考え話し合ってもらおう。四日市公害問題についても触れる。

日常に戻って実践

感じて気づくプロローグ



1. 日常の一コマ (アニメーション動画)

〈中央モニター映像〉

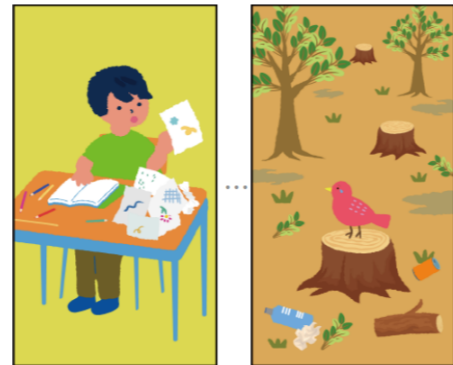
「見えないつながり」に気づくきっかけを。プロローグ映像「その行動で地球が変わる」

毎日の何気ない「ひとつの行動」が、じつは——地球の環境につながっているとしたら？

夏休み、友だちが来たので遊びに行った。エアコンを消し忘れたまま…寝る前、歯磨きをした。水を出しっぱなしにしたまま…

〈展開案〉

1 紙の無駄遣い→森林伐採 / 生態系の破壊
森のこと 生き物のこと



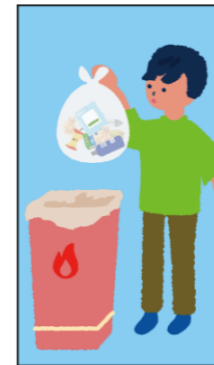
2 ゴみのポイ捨て→海洋性プラスチック
ゴミのこと 水のこと



3 水の出しっぱなし→水不足
水のこと



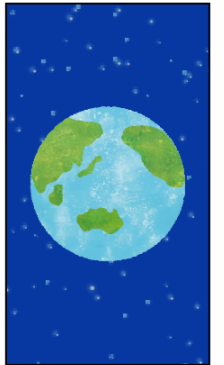
4 ゴみを分別しない→地球温暖化
ゴミのこと 気候のこと



5 エアコンの消し忘れ→エンディングへ
気候のこと



6 エンディング→オープニングへ



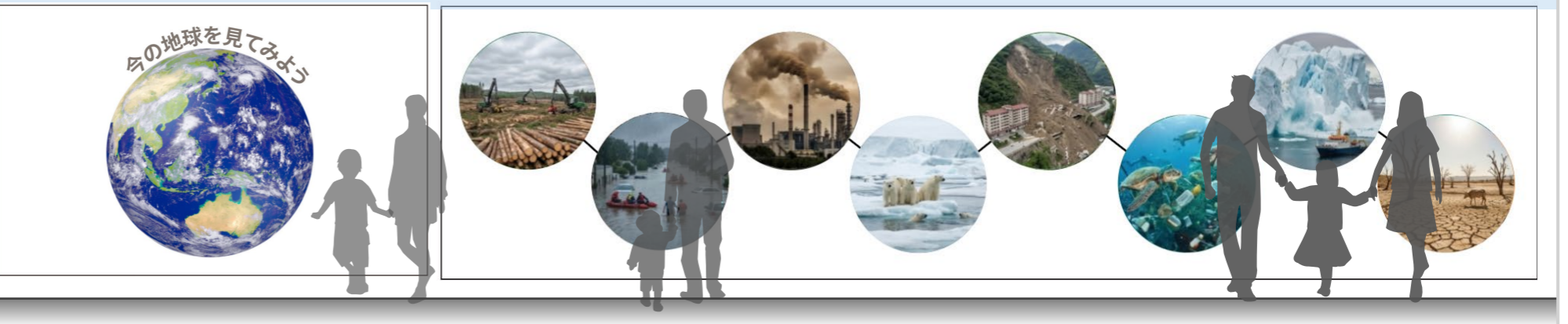
中央では日常の行動を描いたアニメーションが流れています。

その周りには今地球上で起こっていることがデジタル化されています。

それらを取りまく地球と今どこかで起こっている姿。これらは全く関係は無いの？



3. 円形グラフィック 一見美しい地球上の様子。でもよく見ると環境の数字に関連したバランスを崩しつつある姿が…



見学の流れ

1. プロローグ

この施設で感じてもらいたいことを象徴的に表現。

2. つながりのへや

今の生活と環境について、楽しみながら色々なことがみんなつながっていることを知ってもらう。

3. 映像シアター

つながりの部屋で知ったことをクイズコンテンツなどを通じて楽しみながら振り返り、学習を深める。

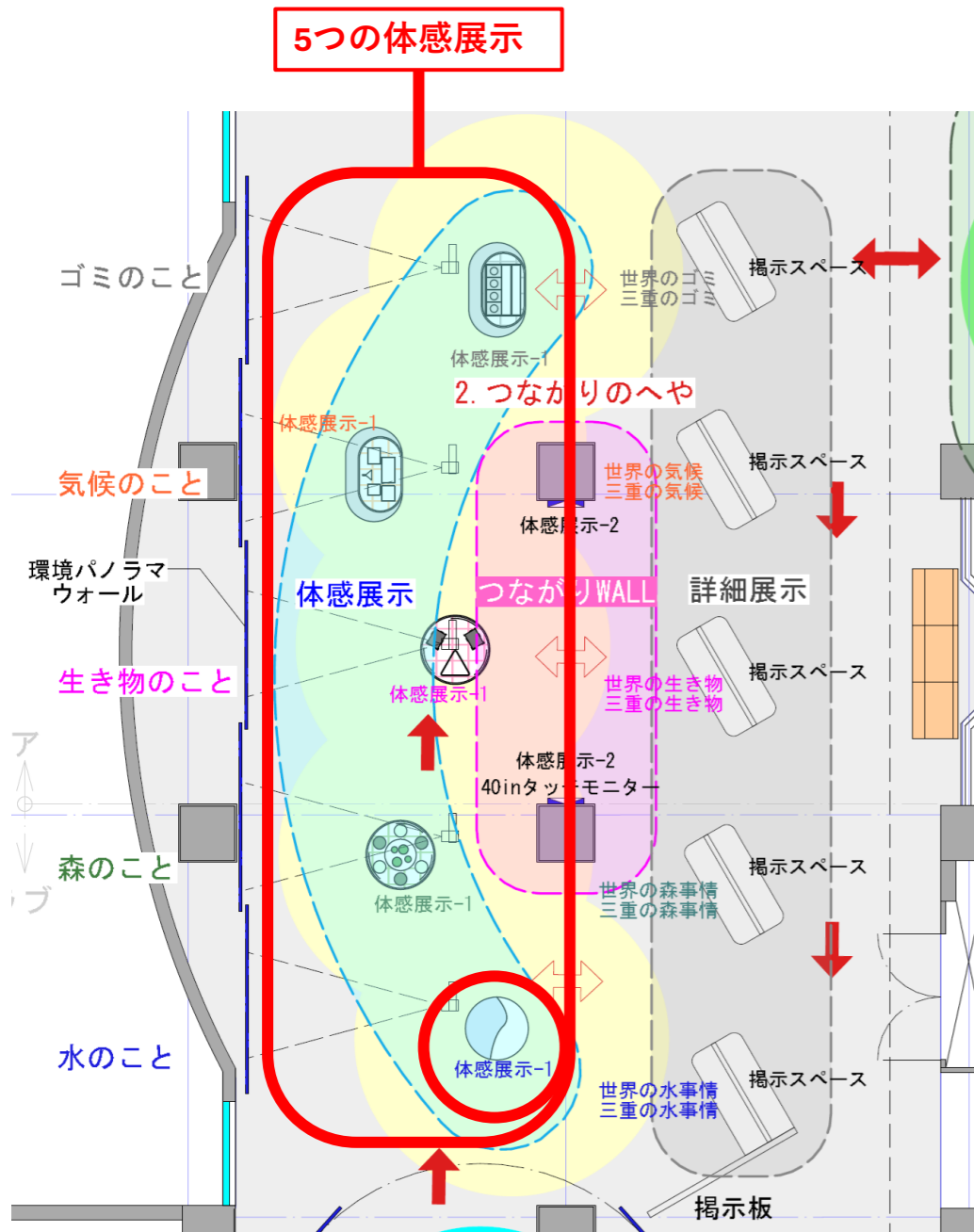
4. 少し先の未来のこと

環境のことに触れて自分はどうしていきたいかを考え話し合ってもらおう。四日市公害問題についても触れる。

日常に戻って実践

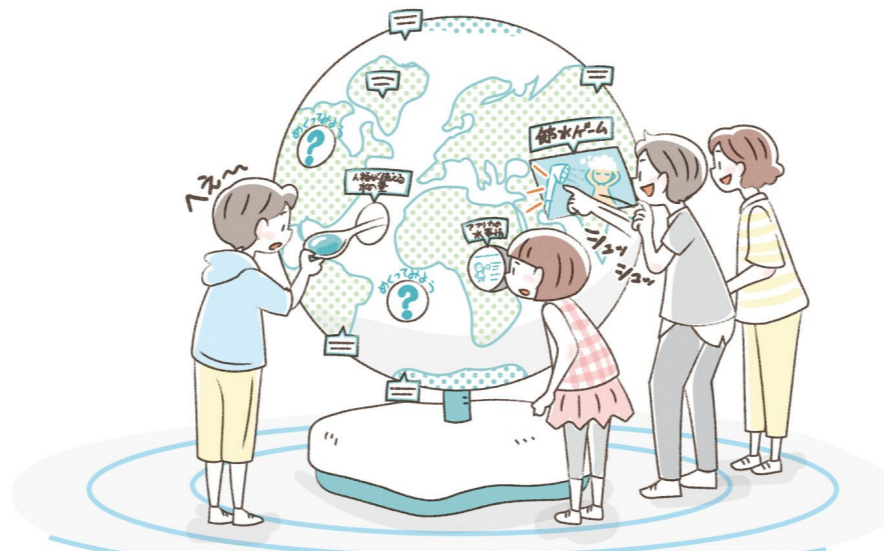
5つのテーマの問題に楽しく触れ、まわりの環境と自分がつながる

- ・環境問題を5つのテーマに分類。プロローグから続く水や森の自然環境から入り、それらに人の活動が深く関わっていることを知ります。
- ・中央の「体感展示」で各環境問題への好奇心を高め、「環境パノラマウォール」で5つのテーマがつながっていることを感じます。
- ・詳細展示では横断的な三重の取り組みなどの紹介で子どもの知的好奇心を満たし、中高生や大人などの来館者にも対応します。



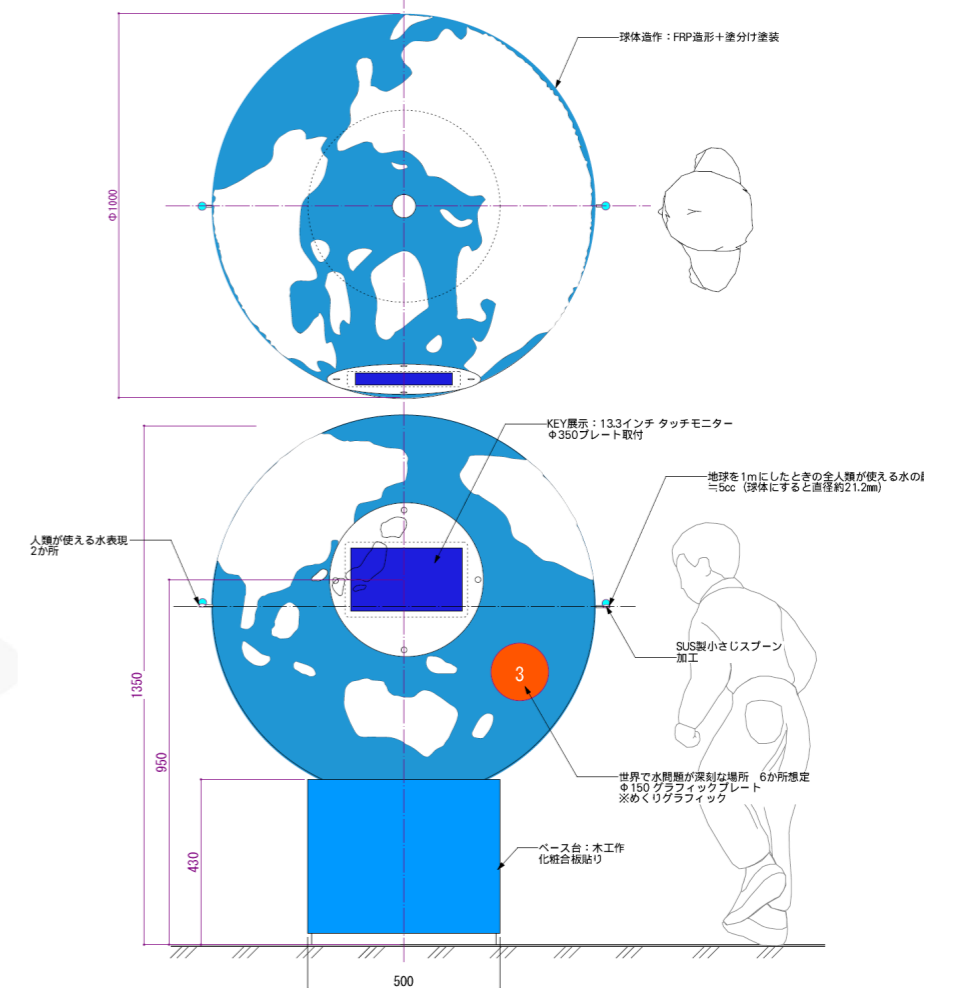
・体感展示 水のこと

地球を直径1mとすると全人類で使える水の量はたったのスプーン1杯分。一見膨大にありそうな水資源の量を知り、水の大切さを再認識する展示。各地域特有の水問題はめくりパネルで能動的に学ぶ。節水ゲームも併設し、遊びながら水の大切さを知る。



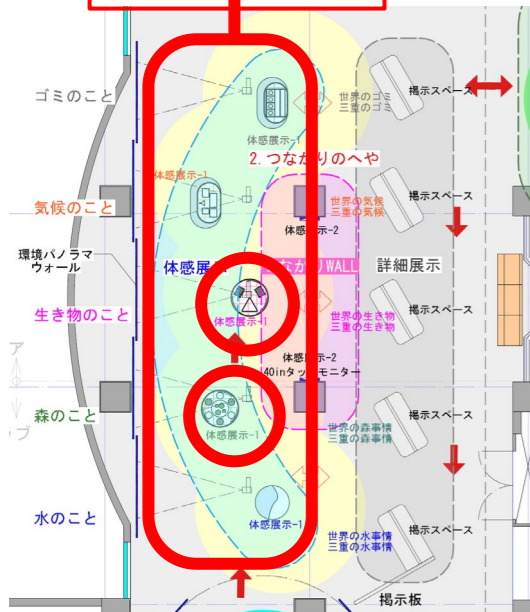
・参考什器イメージ

※形状及び具体的なパネル内容等詳細は実施設計時に決定とします



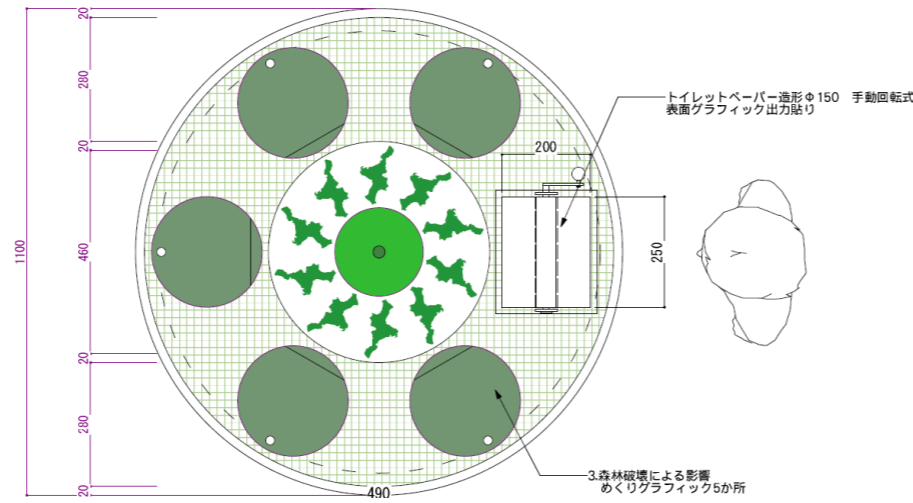
・基本設計抜粋

5つの体感展示



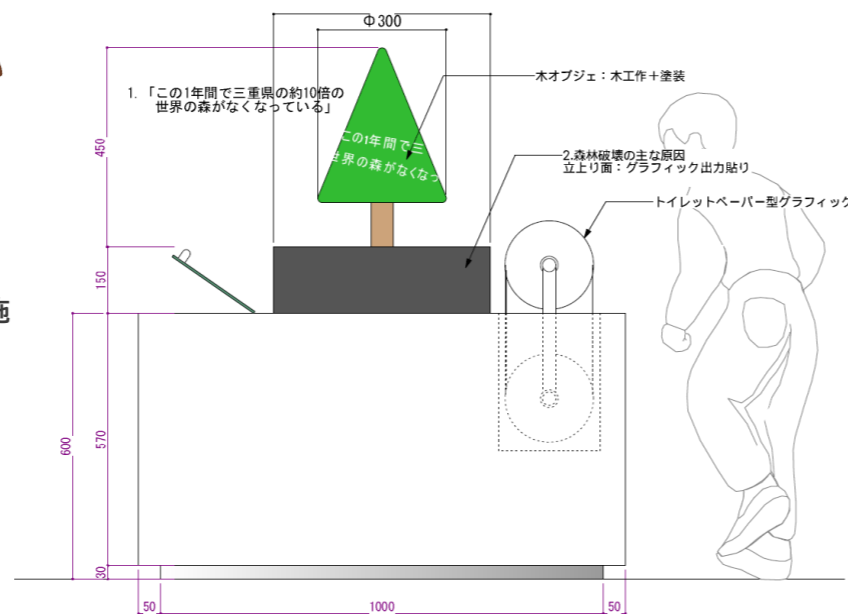
・体感展示 森のこと

この30年間で三重県の約10倍の森林が消失していることを中心に、その主な原因をめぐりグラフィックで知り、トイレトペーパーグラフィックで私たちに出来る日ごろ出来ることをイラスト解説と共に理解する



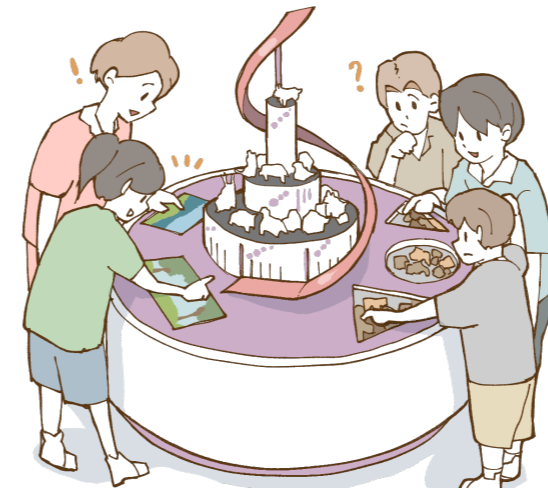
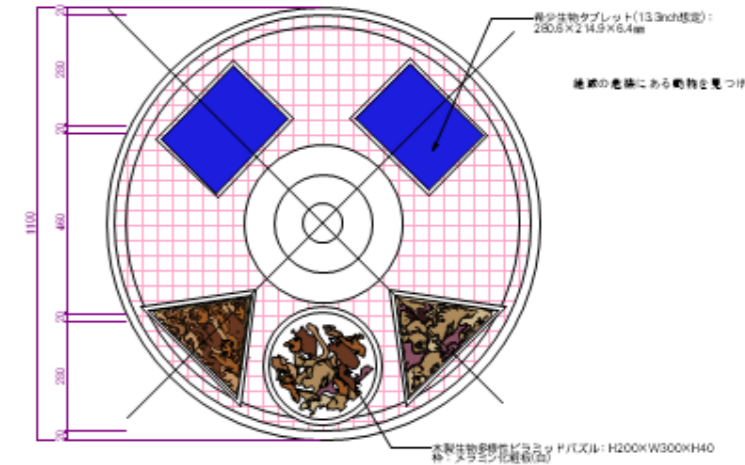
・参考什器イメージ

※形状及び具体的なパネル内容等詳細は実施設計時に決定とします



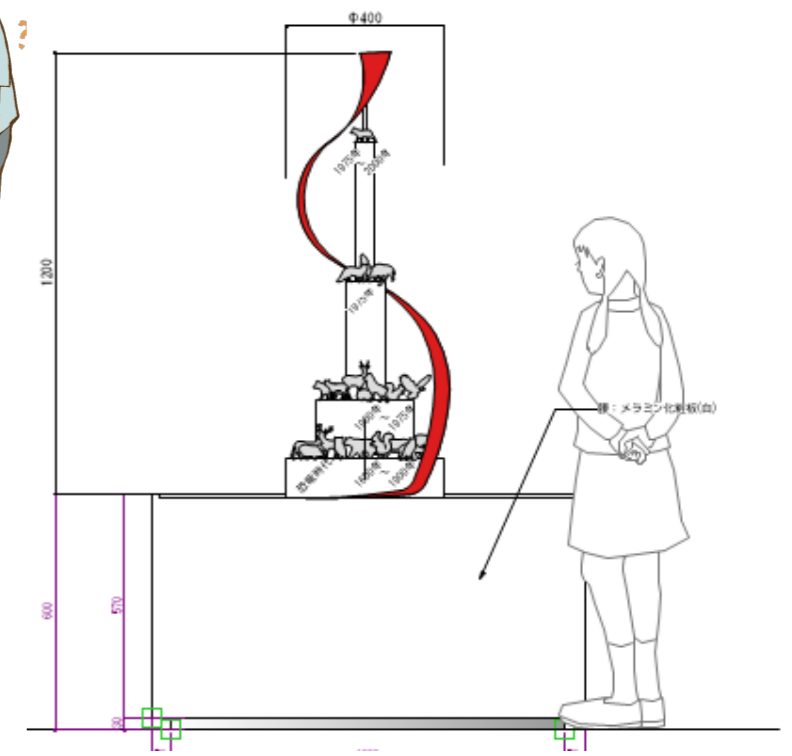
・体感展示 生き物のこと

動物ピラミッドパズルで様々な生き物が共に暮らしているを感じ、タッチモニターでは三重の希少生物を見つけながら知る展示 中央のモニュメントタワーは絶滅スピードがこの50年で爆発的に増えていることを表す

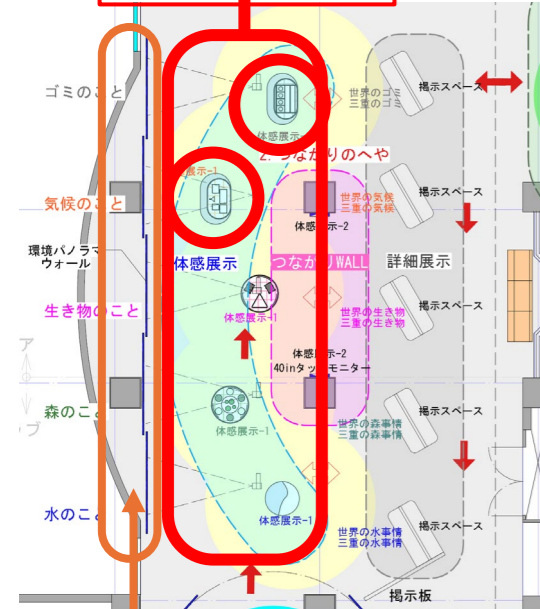


・参考什器イメージ

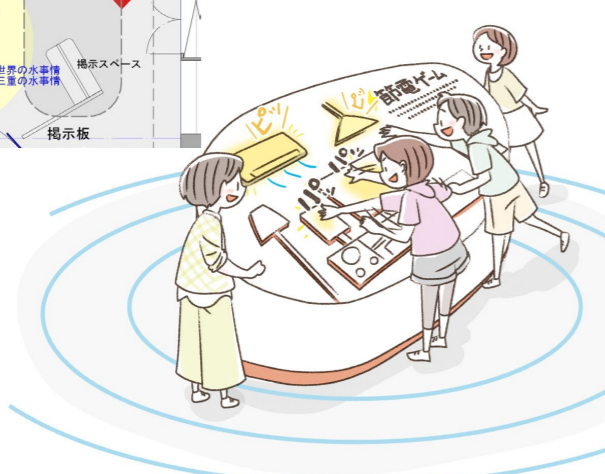
※形状及び具体的なパネル内容等詳細は実施設計時に決定とします



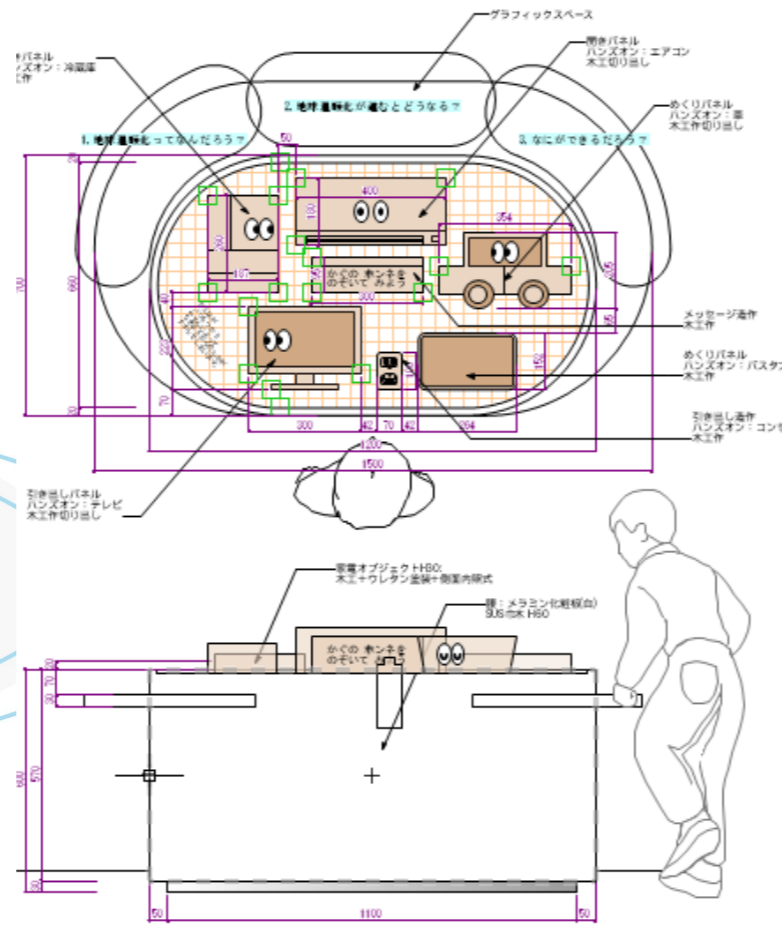
5つの体感展示



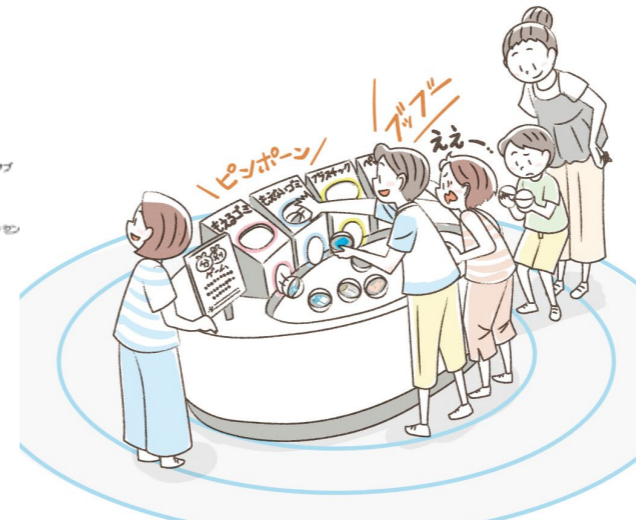
・体感展示 気候のこと
 周りのグラフィックで地球温暖化のしくみやなにができるかなどを伝え、体感展示で車や家電類の模型で日ごろ実践できるCO2削減の知恵を知る



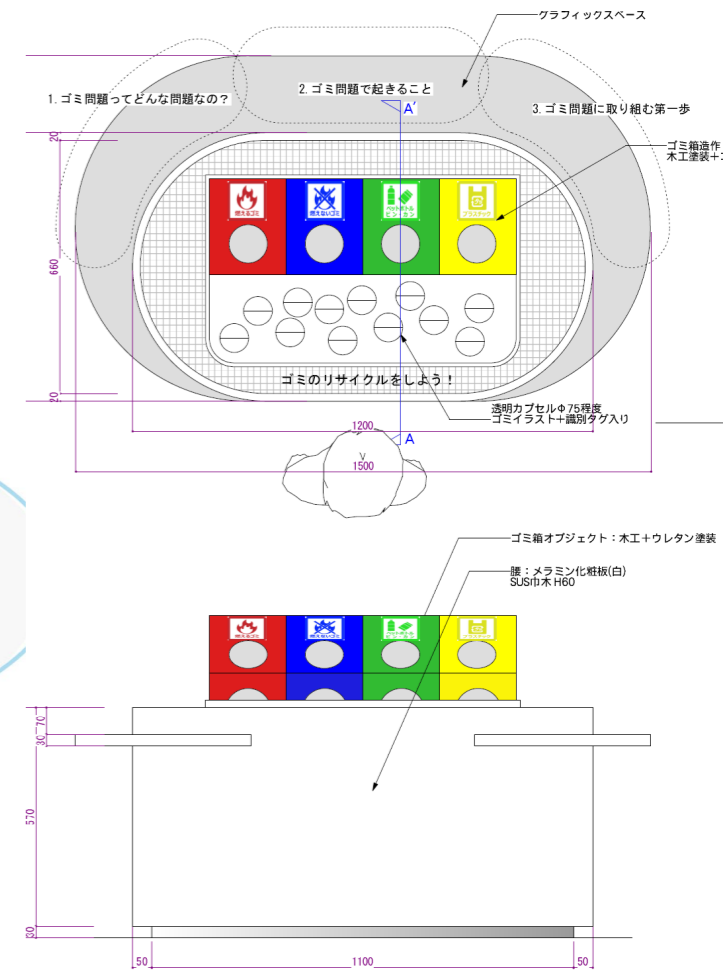
・参考什器イメージ
 ※形状及び具体的なパネル内容等詳細は実施設計時に決定とします



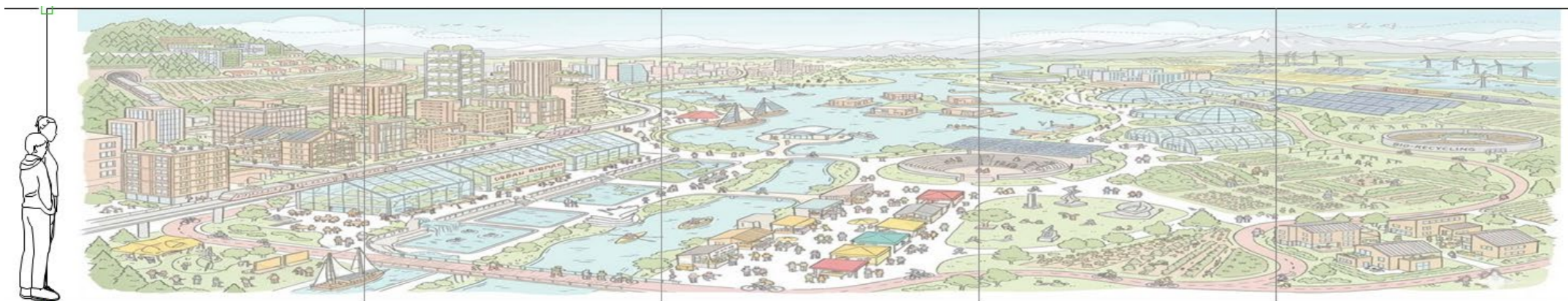
・体感展示 ゴミのこと
 周りのグラフィックでゴミのしくみやなにができるかなどを伝え、体感展示でゴミ分別の大切さを分別ゲームの遊びを通して身に着ける展示



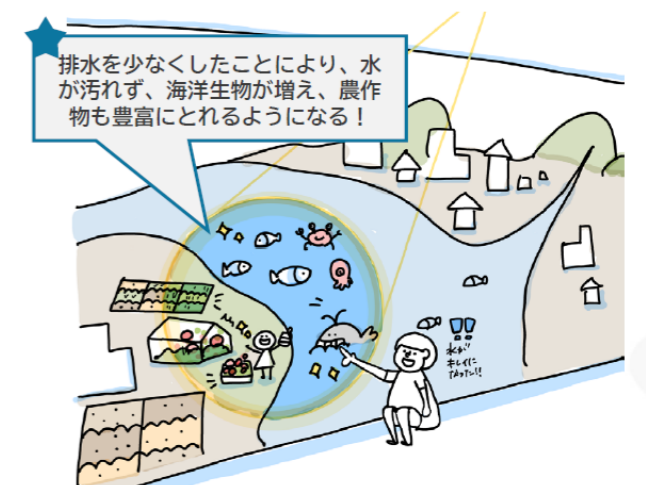
・参考什器イメージ
 ※形状及び具体的なパネル内容等詳細は実施設計時に決定とします



・壁面の環境パラマグラフィックイメージ
 海～街～里山～森のパノマイラストで各問題はつながっていることを視覚化



・各体感展示を行うと環境パラマグラフィックのイラストが動き出す仕掛けで体験意欲を促す



見学の流れ

1. プロローグ

この施設で感じてもらいたいことを象徴的に表現。

2. つながりのへや

今の生活と環境について、楽しみながら色々なことがみんなつながっていることを知ってもらう。

3. 映像シアター

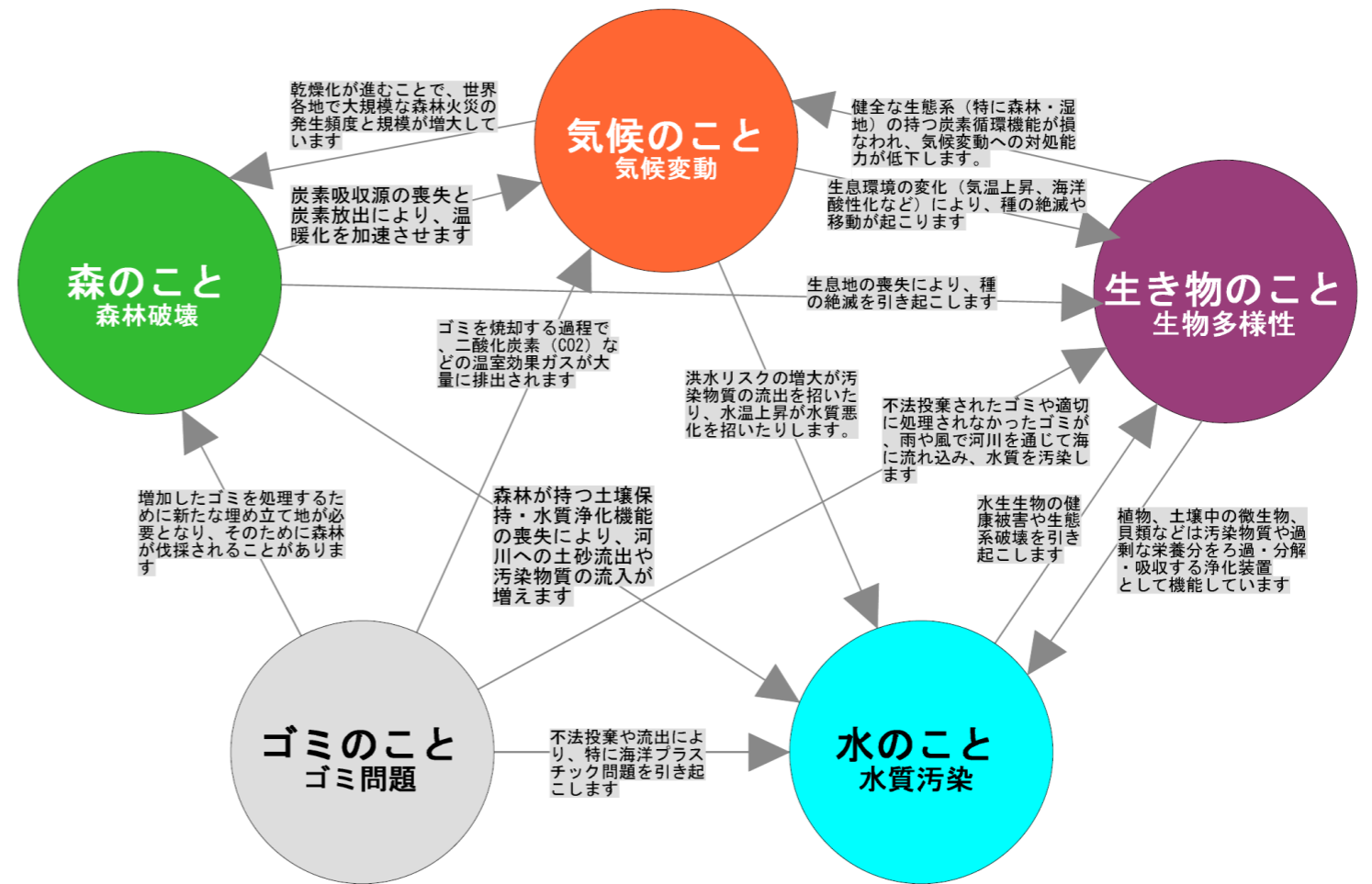
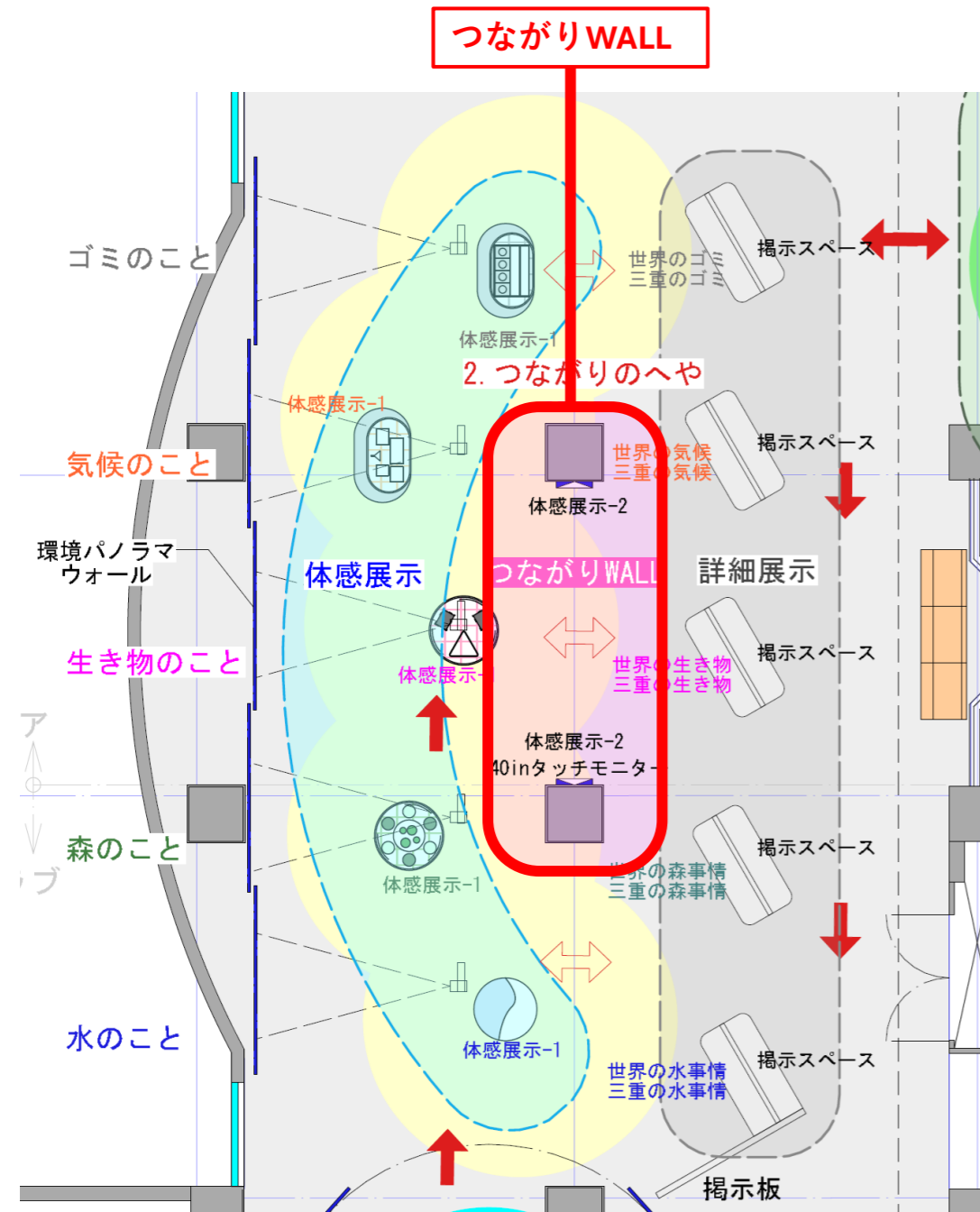
つながりの部屋で知ったことをクイズコンテンツなどを通じて楽しみながら振り返り、学習を深める。

4. 少し先の未来のこと

環境のことに触れて自分はどうしていきたいかを考え話し合ってもらおう。四日市公害問題についても触れる。

日常に戻って実践

中央の「つながりWALL」は5つの環境問題は決して個々の問題ではなく、すべてが影響しあっている相関関係にあり、それぞれが他の環境要素にどう影響を与えるかを視覚的に理解する場とする



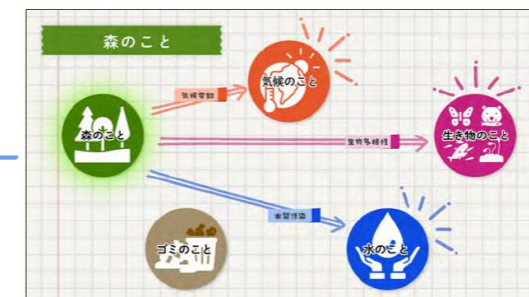
タッチモニター展開例

1 待機画面



5つのボタンが組み上がっていくアニメーション

2 ボタン選択→つながる相関図



選択したボタンから矢印が表示されるアニメーション (ムービー)

3 影響の解説



選択したボタンから生じる影響の解説 (静止画・タッチ操作でトップに戻る)

見学の流れ

1. プロローグ

この施設で感じてもらいたいことを象徴的に表現。

2. つながりのへや

今の生活と環境について、楽しみながら色々なことがみんなつながっていることを知ってもらう。

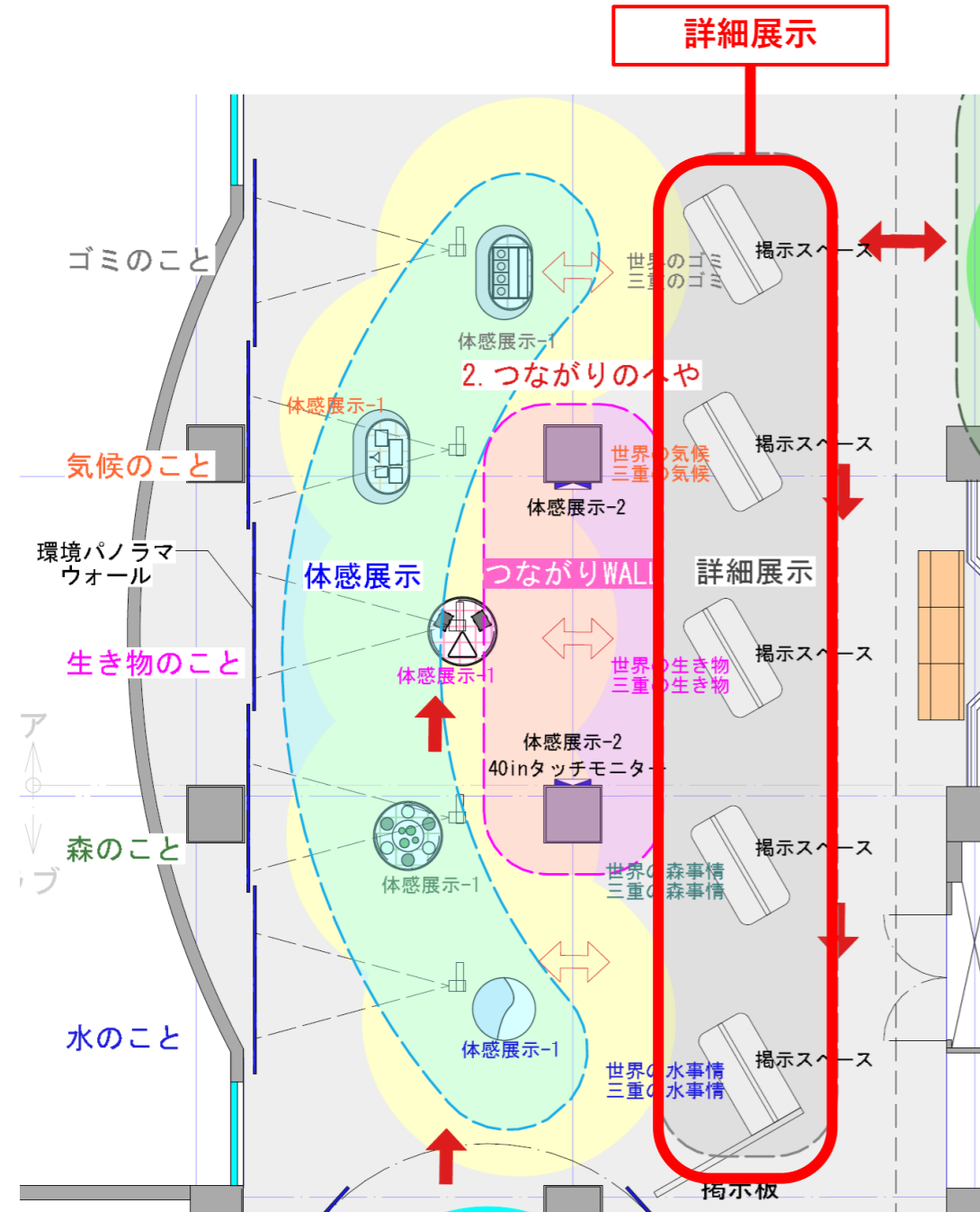
3. 映像シアター

つながりの部屋で知ったことをクイズコンテンツなどを通じて楽しみながら振り返り、学習を深める。

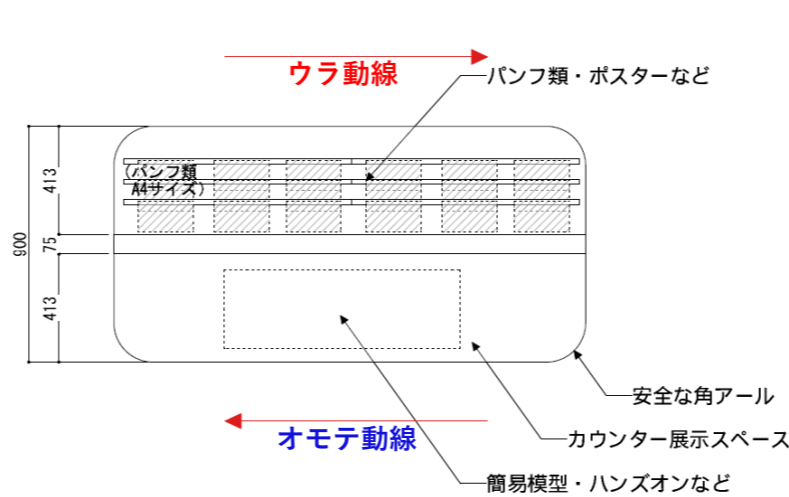
4. 少し先の未来のこと

環境のことに触れて自分はどうしていきたいかを考え話し合ってもらおう。四日市公害問題についても触れる。

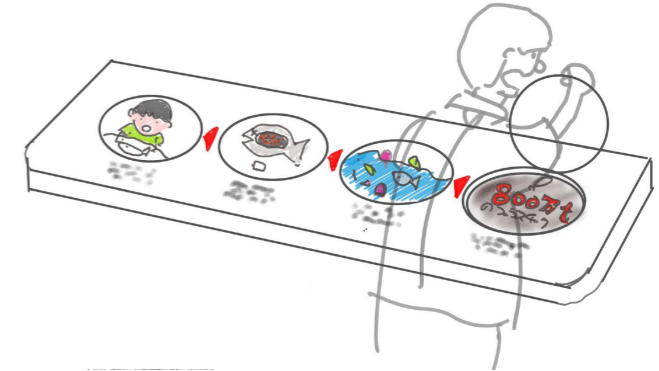
日常に戻って実践



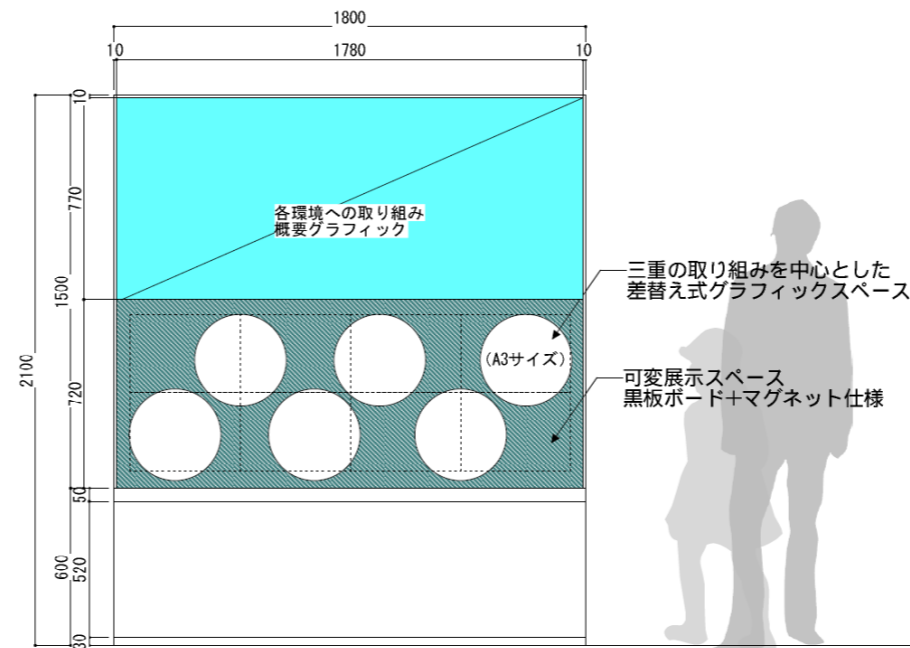
「詳細展示」では5つの環境問題の世界の実情や、その原因・影響などを紹介し、三重県の取り組みなども変更可能なグラフィックで取り上げる。各カウンター展示ではめくりパネルや立体グラフィックで子供にも理解しやすい工夫を行う。ウラ面は帰り導線として、環境問題に対する告知ポスターやリーフレットを集約し、帰りに興味を持った最新情報に触れやすい構成とする。



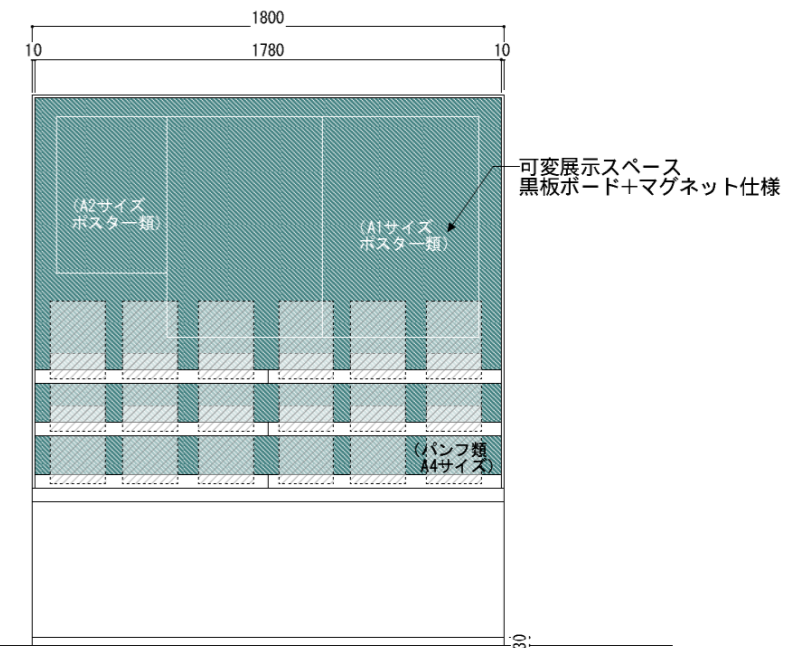
水のこと カウンター例
海洋プラスチックの問題はみんなの健康にも影響する



オモテ導線
各環境の世界事情や問題
三重県事情や問題



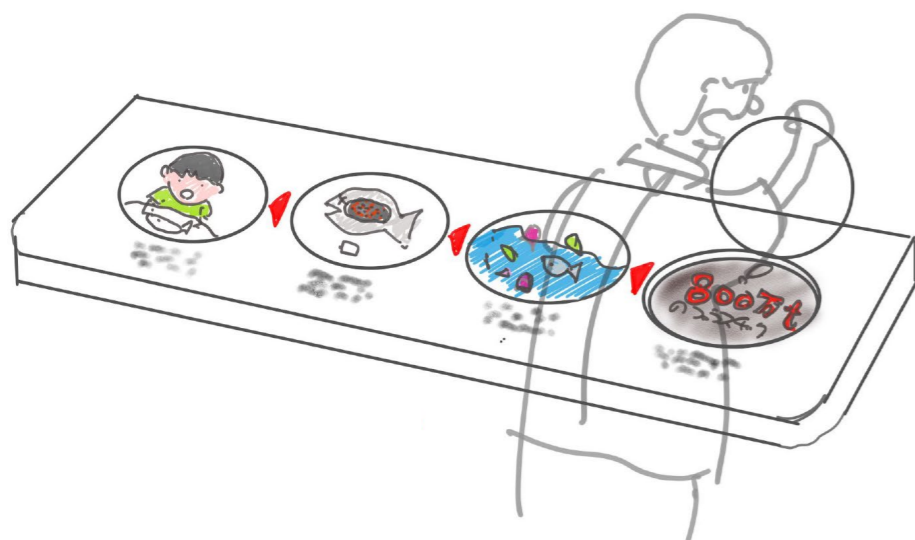
ウラ導線 5項目とも共通
三重県・企業取り組み紹介
最新環境系資料紹介



各カウンター展示例

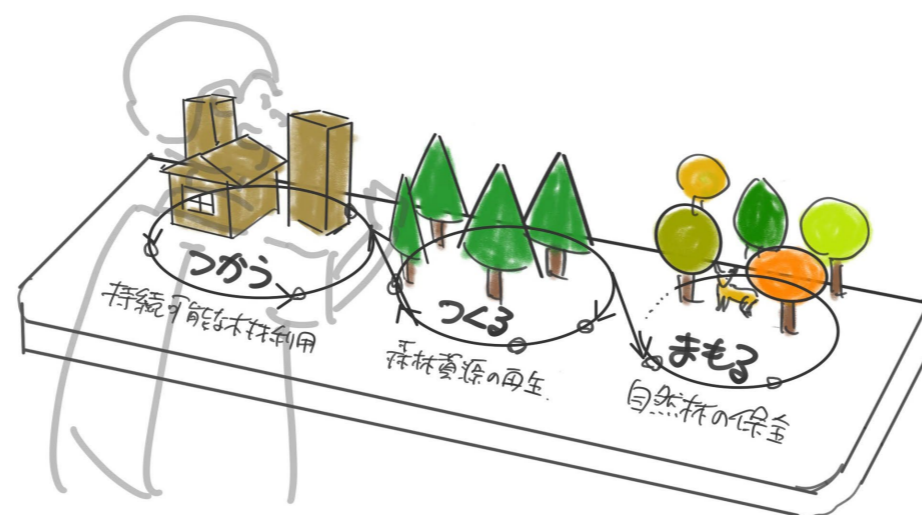
■水のこと カウンターイメージ

海洋プラスチックは現状約800万トンにも膨れ上がっており、その問題は海洋生物などへの影響だけでなく、みんなの健康にも影響を及ぼす可能性があることを学ぶ



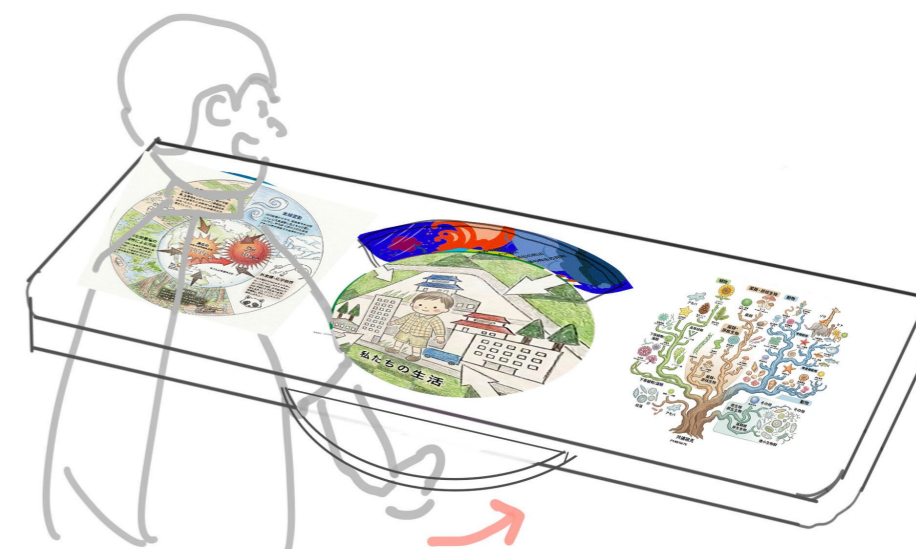
■森のこと カウンターイメージ

森のめぐみを将来にわたって享受できるように、森林資源を再生する「つくる」を中心に、木材利用を進める「つかう」、良質な森林を保全する「まもる」の3つの持続可能な仕組みを知る



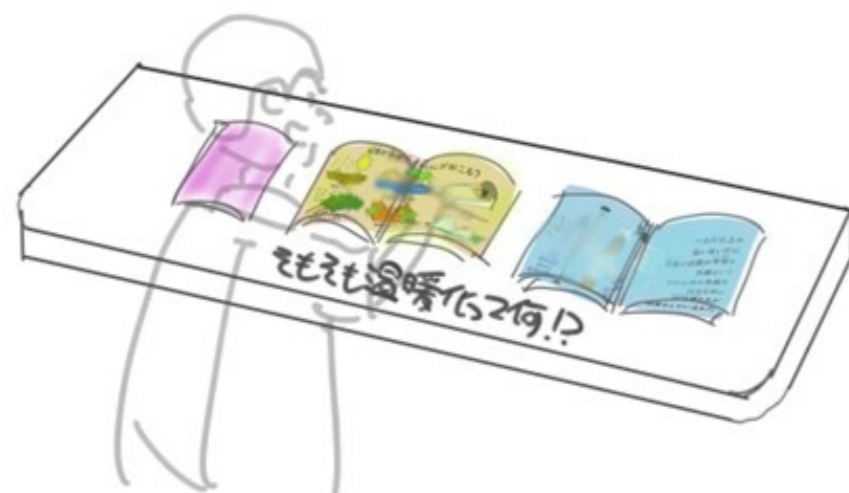
■生き物のこと カウンターイメージ

中央の大型回転グラフィックで多様な生き物が人の生活にもたらす自然のめぐみを知る
両側では地球上には約3000万種の様々な生き物が暮らしていることや、それらの絶滅スピードが100年前から約1000倍のスピードで加速していることを知る



■気候のこと カウンターイメージ

3つのめくりグラフィックで地球温暖化の全容を知る
「気候を不安定にする地球温暖化」
「どんなことをすると温室効果ガスは出るの？」
「地球の温暖化が進むとなにが起きる？」

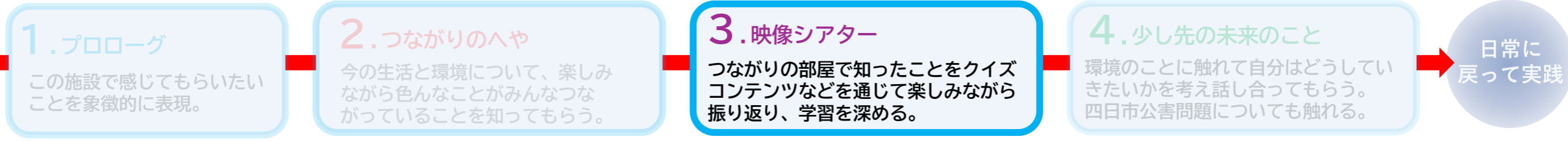


■ゴミのこと カウンターイメージ

従来のリサイクル「資源として活かそう」リデュース「ゴミを減らそう」リユース「繰り返し使おう」に加え、リフューズ「ゴミになるものは断ろう」リペア「修理してまた使おう」の5Rの考えを学ぶ



見学の流れ



インタラクティブ体験

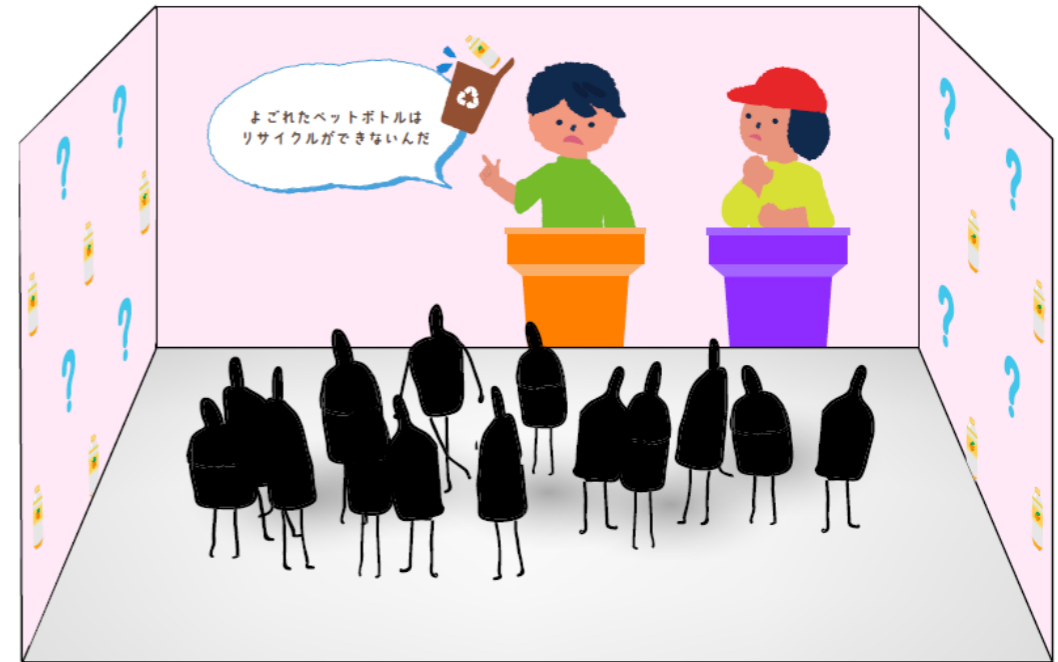
■エコぞうと考えよう！地球のミライ会議

地球環境を守るための行動について考える、参加型ディベートコンテンツ。プロローグ映像のテーマ「地球と自分のつながり」をふまえ、環境を守るために自分ができる行動を考える体験へとつなげる。

〈ポイント〉

- 参加型ディベートで能動的に学ぶ
 - 様々な選択肢から自分で考え回答を選択することで、多角的な視点を養いながら自発的に学ぶことができる
- プロローグ映像のキャラクターが再登場
 - プロローグに登場したキャラクターが再び現れることで、物語性と「つながり」との一貫性を演出

〈仕様〉
 PC: 1台
 プロジェクター: 6台
 センサーカメラ: 4台
 ナレーション/BGM/SE: あり
 体験時間: 7～10分
 体験人数: 最大20人程度



1 エコぞうからの問いかけ



ナビゲーターのエコぞうから、日常生活に関わるエコな行動について問いかける。

2 回答選択①/ 集計結果を発表



2つの選択肢を提示。参加者は自分で考え、回答エリアへ移動。選択肢ごとの回答数が発表される。

3 デイベート



キャラクターがディベートを展開。5つの環境テーマを踏まえる内容とする。
 ※ディベートの内容は3パターンを想定
【例】
 ・飲み残しのペットボトルはどうやって捨てる？
 ・目覚まし時計が壊れたらどうする？など
 参加者はディベートを聞きながら、自分の選択や考えを振り返る。

中央スクリーンでキャラクターの会話を展開し、左右スクリーンにはテーマに沿ったイラストを表示

4 回答選択②/ 最終集計結果を発表



ディベートの内容を踏まえ、参加者は再度回答を選択。最終の集計結果が発表される。

 コンテンツの最後には、エコぞうから『どちらの選択も正しく、地球のためにできる身近な行動はたくさんある。』というメッセージ。

見学の流れ

1. プロローグ

この施設で感じてもらいたいことを象徴的に表現。

2. つながりのへや

今の生活と環境について、楽しみながら色々なことがみんなつながっていることを知ってもらう。

3. 映像シアター

つながりの部屋で知ったことをクイズコンテンツなどを通じて楽しみながら振り返り、学習を深める。

4. 少し先の未来のこと

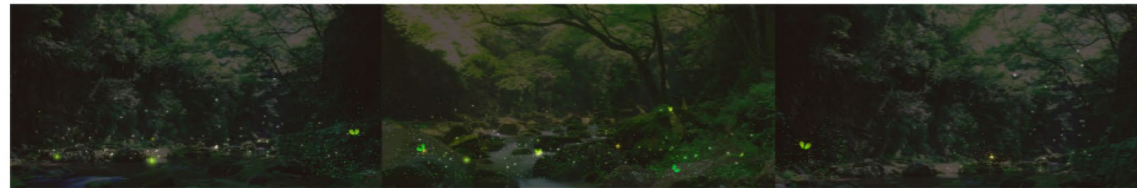
環境のことに触れて自分はどうしていきたいかを考え話し合ってもらおう。四日市公害問題についても触れる。

日常に戻って実践

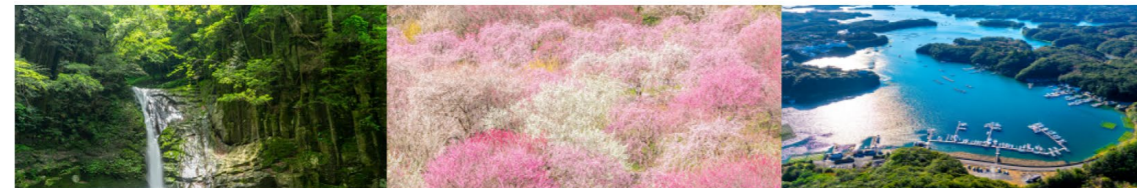
待機映像案

■「三重の自然と暮らし」

海、山、川——四季折々に表情を変える三重県の多彩な自然の中で息づく人々の営み。自然と暮らしが織りなす風景のライドショー。



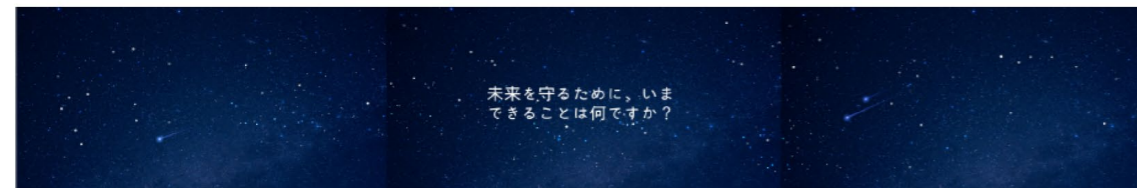
暗い森の中を舞う蛍たち。



長きにわたり守られてきた三重県の美しい自然。青く輝く海、風にそよぐ草木、山に棲む鳥のさえずり、季節によって表情を変える豊かな風景のライド。



自然とともに育んできた人々の営み早朝の漁港に響く声、棚田を潤す水の音、森を歩く足音、季節のめぐりとともに息づく、暮らしの風景のライド。



未来を守るために、いまできることは何ですか？

夜空に美しい星が輝く。テロップ：「未来を守るために、いまできることは何ですか？」

任意の上映会等の利用

■持ち込みの画像データや動画等も 投映可能

三重県内で開催されている「みえの森」フォトコンテストなどの発表会や既存啓発動画などの上映等



各種フォトコンテストなど



三重県制作動画など



見学の流れ

1. プロローグ

この施設で感じてもらいたいことを象徴的に表現。

2. つながりのへや

今の生活と環境について、楽しみながら色々なことがみんなつながっていることを知ってもらう。

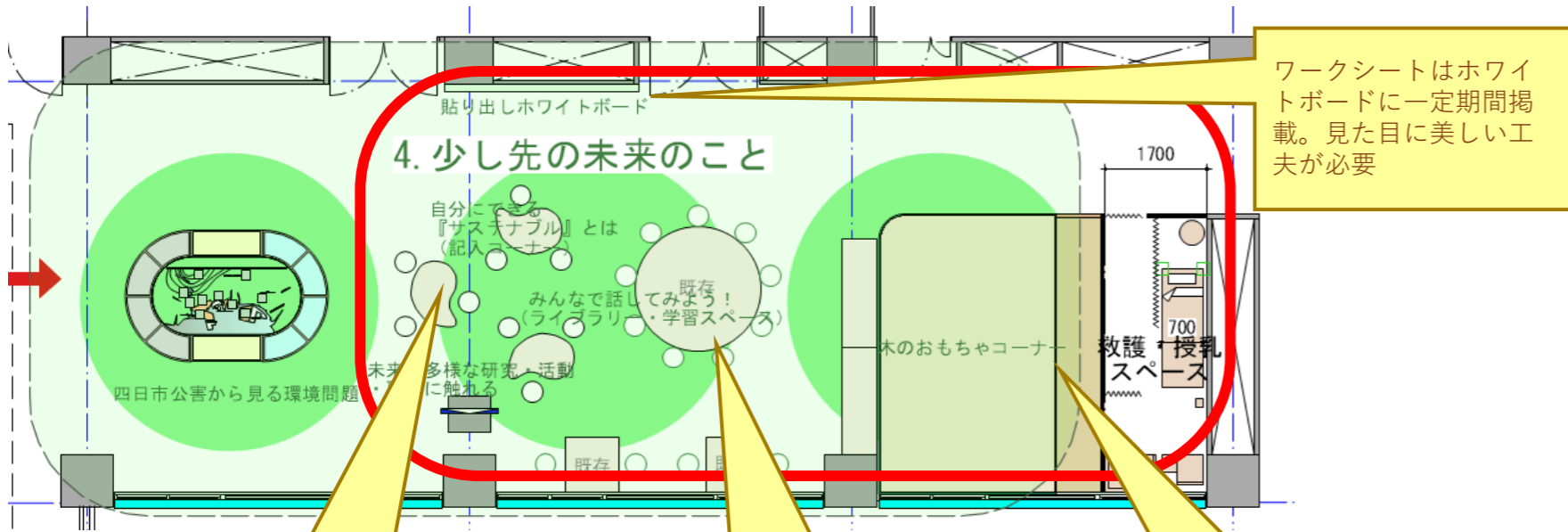
3. 映像シアター

つながりの部屋で知ったことをクイズコンテンツなどを通じて楽しみながら振り返り、学習を深める。

4. 少し先の未来のこと

環境のことに触れて自分はどうしていきたいかを考え話し合ってもらおう。四日市公害問題についても触れる。

日常に戻って実践



組み合わせて用途を変更できる、可動式の既製品テーブルを選定。多様な人数設定に対応

既存什器をリユース。天板意匠を変更し、リニューアルに違和感のない工夫を行う

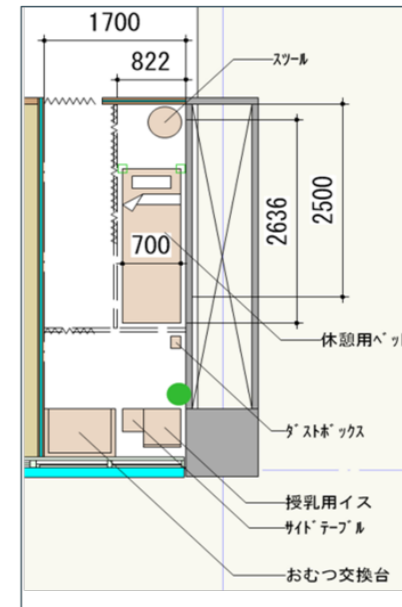
現在の本棚をリユース。小学生向けに、書籍を選定。機能は書籍の紹介に特化



■少し先の未来のこと

意見を書く机と、隣の話合いスペースをドッキングして**一体的に【広場】として活用**。
⇒学んだことを共有し合う、紙に書く、参考図書を読むなど幅広い活動を受け入れる場とする。

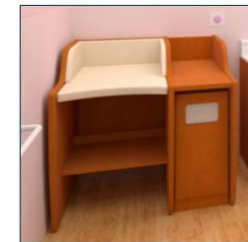
■休憩・授乳ブース構成



●ベッド
簡易的で持ち運びがしやすいもの

●授乳ゾーン

- ・おむつ交換台・授乳用のイス
- ・サイドテーブル・ダストボックス



■木のおもちゃコーナー

- ①靴をぬいで親子でリラックスできる場とします。床素材は木のおもちゃコーナーらしく、木製床とします。(県産材を検討)
- ②新規ちゃぶ台を設け、テーブルでの遊びもやすくします。

・本棚活用-1 ライブラリー側イメージ

・本棚活用-2 木のおもちゃコーナー側イメージ

